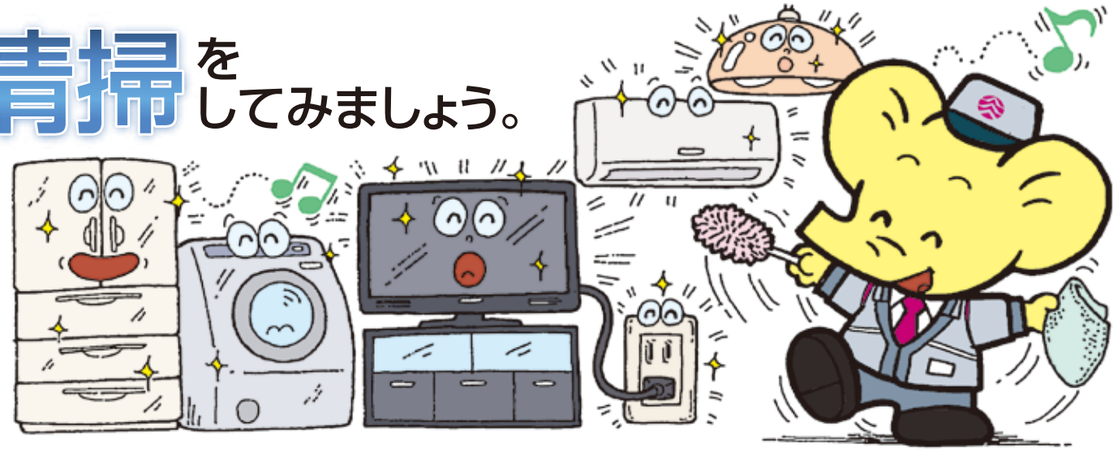
年末は、電気用品の点検チェックと清掃をしてみましょう。



いつも便利に使用している電気用品も知らないうちに不具合があったり、
無理な運転をさせていたり知らずに故障していて、大掃除の時に初めて気づく事もあるものです。
いつも普通に使用できている電気用品をあらためて点検する事は面倒であり後回しになりがちですが、
年末の大掃除の機会にぜひともチェックをして安全に使用していただきたいと思います。
今回は、身の回りの電気用品のチェックや掃除を手順にしたがって確認してみましょう。
もし不具合な箇所を発見した場合は直ちに使用を取り止め、器具を交換するか修理するかを判断しましょう。

チョット待って！　点検を始める前にこれだけはやってね。

- ☞ 点検の前に電気用品の差込プラグを抜きましょう。
- ☞ 電気は水気が苦手です、コンセントやプラグを拭き掃除する時は固く絞った雑巾で拭いてね。
- ☞ おかしいな？ と思ったら取扱説明書をよく読んで、それでもダメなら購入店に相談しましょう。

1 壁のコンセントや差込プラグを点検します

壊れていたり割れていたりするコンセントやプラグをそのまま使用すると、感電やショートの原因となり危険です。早めに交換しましょう。

【チェックポイント】

- チェック □ コンセントプレートが割れたりしていませんか？ 中身の刃受けが見えるようなら非常に危険です

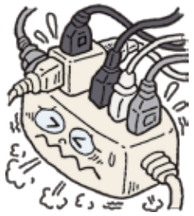
- チェック □ 差込みプラグがグラグラしませんか？ 刃受けが緩んでいるかもしれません
- チェック □ 差込みプラグに焦げたような痕がありませんか

2 テーブルタップを点検します

通常、壁のコンセントの差込み口は1口か2口しかありませんので、それ以上に電気製品を使用したい場合はテーブルタップを使用していると思います。テーブルタップは正しく使用しないと思わぬ事故につながります。

【チェックポイント】

- チェック □ 普段からタコ足配線になっていませんか？ 使用できる電気量には制限が有ります
- チェック □ 振ってみて何か音がしませんか、中で部品が外れているかもしれません
- チェック □ コードが長くて束ねたり、縛ったりしていませんか
- チェック □ 配線コードの途中をステップルなどで固定していませんか
- チェック □ コードが家具などの下敷きになっていませんか



3 コンセントや差込みプラグを清掃します

冷蔵庫や家具の裏のコンセントに差した差込みプラグにはチリやホコリが溜まっていることがあります、このホコリに湿気が加わると「トラッキング現象」により発火することが有りますので注意が必要です。
これらの部分の掃除を行いましょう。

【チェックポイント】

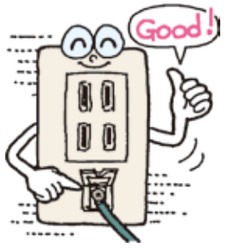
- チェック □ 家具や冷蔵庫でコードが押しつぶされていませんか
- チェック □ 裏側のコンセントや差込みプラグのホコリを掃除しましょう

4 アース線を確認します

洗濯機、冷蔵庫、エアコン、電子レンジ、衣類乾燥機などはアースを取り付けましょう。万が一これらの製品が漏電した場合にアース線があればその電気を大地に逃すことが出来ます。アース線が外れていないか確認をしてみましょう。

【チェックポイント】

- チェック □ アース付きコンセントに緑色のアース線がしっかりと固定されていますか
- チェック □ エアコンの室外機（屋外機）にアース線が取り付けてありますか
（屋内機のアース付コンセントと室外機のアースがつながっている場合もあります）



次に電気製品の掃除を始めましょう！

5 エアコンの掃除

エアコンは室内の空気を冷媒の通った熱交換器を通し循環させることで室温をコントロールしています。この吸い込み口にフィルターがあるわけですが、このフィルターが汚れると空気の流れが妨げられ、エアコンの能力が低下してしまいます。

【チェックポイント】

- チェック □ フィルターを外し水洗いしましょう。水は空気の流れる方向と逆から当てましょう
- チェック □ 掃除機でエアコンの空気取入口のスリットのホコリを吸いましょう
- チェック □ 吹き出し口のホコリを掃除します
- チェック □ 洗ったフィルターはよく乾燥させてから本体に取り付けます

6 冷蔵庫の清掃

一年中活躍する冷蔵庫も大掃除の時に点検清掃しましょう。作業は食材が傷まないように進めてください。食材の詰め込み過ぎは冷蔵庫の大敵です。掃除をしながら食材の整理も行うと効果的です。

【チェックポイント】

- チェック □ 食材を取出し外せるパーツを水洗いします
- チェック □ ドア内側のゴムパッキンを清掃します、異物が挟まっていませんか
- チェック □ 庫内が軽くなったら冷蔵庫を動かして裏面のホコリも掃除しましょう

7 洗濯機の清掃

全自動洗濯機は大変便利な家電製品です。最近では乾燥機能付きの製品も出回っています。快適に使用出来るように清掃をしましょう。

【チェックポイント】

- チェック □ 洗剤投入ケースを清掃します
- チェック □ 給水ホースのフィルターを掃除して目詰まりをなくします
- チェック □ 乾燥機能付き全自動洗濯機は乾燥フィルターや糸くずフィルターも清掃します

（機種によりフィルターの位置や形状は異なります）

8 掃除機の清掃

最近は紙パック式の掃除機に代わりサイクロン式の掃除機も多くなってきました。今回はサイクロン式の掃除機を取り上げます。ダストカップ周りの清掃を十分に行うことで吸引力の維持が期待できます。フィルター類を水洗いできる製品も有りますが、取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

【チェックポイント】

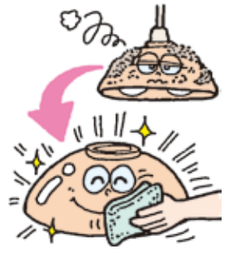
- チェック □ 本体の電源コードが傷んでいないか確認しましょう
- チェック □ 吸込口の回転ブラシを取り出し毛髪やゴミを取り除きます
- チェック □ ダストカップは取扱説明書通りに分解し、水洗いできる部分を洗浄します（洗った部品は十分乾燥させてから組立てましょう）

9 照明器具の清掃

ホコリが付着したり、光の反射部分が汚れると「あれ! 暗くなったな」と思うことも。様々な形の照明器具がありますので、それぞれにあった掃除をしましょう。使用直後は電球が熱くなっていますので注意してください。

【チェックポイント】

- チェック □ ペンダント式のフードを外しホコリを拭き取ります
- チェック □ 蛍光灯タイプは蛍光灯を外し、空拭きします
- チェック □ ダウンライトは光の拡散フードのホコリを拭き取ります



10 テレビの清掃

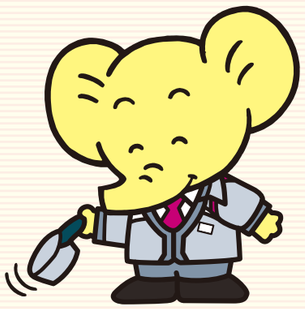
大画面テレビも一般的になってきました。テレビ画面は静電気でホコリがつきやすいものです。画面はホコリばかりでなく指紋も気になります。しかし画面は傷がつきやすいので、取扱説明書をよく読み推奨された洗剤や用具を使って清掃してください。

【チェックポイント】

- チェック □ 画面のホコリを拭き取ります
- チェック □ テレビ裏面のホコリも拭き取ります

いかがでしたでしょうか？電気用品は不具合があったらこの際交換をしてみてください。コンセントプレート等の電気用品は専門の電気工事が必要になる場合もありますので注意が必要です。

電気用品の清掃のポイントは他にもありますが、取扱説明書に詳しく載っていますので是非ご覧になってください。電気製品はこまめな掃除を繰り返すことで製品の寿命を伸ばし、消費電力も減らすことにも結びつきます。また、今回照明器具の清掃も取り上げましたが、電球タイプの照明器具はLED電球に交換すると「省エネと長寿命」の両得です。様々なタイプが用途別に各メーカーから出ていますので一度検討されてはいかがでしょうか。



安全エレちゃんのクイズコーナー

電気と保安 2014.11・12月号

問題

年末は電気用品の○○○○○○と清掃をしてみましょう。

6文字をお答えください。

ヒント（4〜7ページ）

●**応募方法** ハガキまたは電子メールに
①クイズの答え ②郵便番号・住所・氏名 ③勤務先名・勤務先住所（ご意見・ご感想がある方はご記入ください）
④本誌や当協会に対するご意見・ご感想（「保安協会はこの点を改善した方が良い」等のご意見もお聞かせください）
をご記入のうえ下記あてにお送りください。
また、当協会ホームページにもクイズの応募フォームがございますのでご利用ください。

●**応 募 先** 〒171-8503 東京都豊島区池袋3-1-2 光文社ビル 関東電気保安協会 広報部
［当協会ホームページアドレス］ http://www.kdh.or.jp/
［電子メールアドレス］ kdh-kouhou@kdh.or.jp

●**締切期日** 平成27年1月20日必着

●**発 表** 平成27年3・4月号に正解を発表いたします。正解者の中から抽選で100人の方にオリジナル図書カード（500円分）を贈呈いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

◎ご記入いただいたお客さまの情報は当選者へ図書カード送付の目的、および、ハガキまたはメールで寄せられたご意見に対する回答の目的のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

● 7・8月号正解 ●

「電気使用安全」でした。

応募総数…1,211件 たくさんのご応募ありがとうございました。